平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 やまねメディカル コード番号 2144 URL <a href="http://www.http://ww

14 URL http://www.ymmd.co.jp (役職名)代表取締役社長

(氏名) 山根 洋一 (氏名) 秋田 和美

TEL 03-5201-3995

問合せ先責任者(役職名)取締役経理財務部長 四半期報告書提出予定日

平成21年11月10日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

代表者

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収	入	営業利	刂益	経常和	刂益	四半期紀	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,641	9.7	286	△33.3	271	△35.9	139	△41.5
21年3月期第2四半期	2,408	_	430	_	423		238	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1,255.52	_
21年3月期第2四半期	2,112.58	_

⁽注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

(=) /(1-2)(1/12)				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	3,331	1,376	41.3	12,415.48
21年3月期	2,637	1,356	51.4	12,212.31

(参考) 自己資本

22年3月期第2四半期 1,376百万円

21年3月期 1,356百万円

2 配当の状況

2. 癿 🗕 切 1人 ル								
		1株当たり配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	期末	合計				
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭			
21年3月期	_	0.00	_	1,000.00	1,000.00			
22年3月期	_	0.00						
22年3月期 (予想)			_	1,000.00	1,000.00			

⁽注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収	八	営業和	引益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,651	13.2	910	10.7	900	11.1	513	7.2	

⁽注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項 等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更

 - ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 113,300株 21年3月期 113,300株 ② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 2,395株 21年3月期 2.195株 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 110,965株 21年3月期第2四半期 112,806株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
 2. 業績予想の1株当たり当期純利益については、予想期中平均株式数(110,935株)により算定しております。

定性的情報·財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(6か月)におけるわが国経済は、徐々に景気持ち直しの動きがみられましたものの、雇用情勢の一層の悪化や海外景気の下振れ懸念、国際的な金融・資本市場の不安定感に加え、経済政策運営の不透明感から、先行き予断を許さぬ状況下に推移いたしました。一方、介護業界におきましては、高齢社会の進行に伴う介護ニーズの増大を背景として、介護市場の着実な成長の基調が持続いたしました。

このような状況のもと、当社は介護を要する高齢者の「尊厳の保持」及び「自立支援」を重視しつつ、ご利用者及びご家族のご満足をさらに増進するためのベストサービスの提供に注力いたしました。さらに、平成21年4月に施行された介護報酬の改定に伴う単価の低下に対処して、一段と生産性の向上を図るべく努力いたしました。

しかしながら、東京都による当社の都内22施設に対する新規利用者の一定期間受入れ停止処分により、当該施設は利用者急減に伴い第2四半期(3か月)において予算比で減収減益を余儀なくされました。

この間、通所介護事業においては、平成21年7月に東京都渋谷区にデイサービスセンター(以下「DS」といいます)なごやか代官山を、東京都新宿区にDSなごやか曙橋を、東京都目黒区にDSなごやか学芸大をそれぞれ開設して、事業成長の基盤を強化拡充いたしました。一方で、平成21年8月に東京都板橋区にありますDSなごやか成増を閉鎖いたしました。このように、当第2四半期中(3か月)に3施設を新規開設し、1施設を閉鎖いたしました結果、当第2四半期末において77箇所の直営DSを展開しております。

フランチャイズ事業においては、当第2四半期末において、5箇所のフランチャイズによるDSを展開しております。

以上の結果、当第2四半期(6か月)における当社の営業収入は2,641,828千円(前年同期比9.7%増)、営業利益286,955千円(前年同期比33.3%減)、経常利益271,783千円(前年同期比35.9%減)、四半期純利益は139,318千円(前年同期比41.5%減)となりました。

また、当第2四半期(3か月)につきましては、当社の営業収入は1,347,334千円(前年同期比7.8%増)、営業利益148,633千円(前年同期比35.4%減)、経常利益136,814千円(前年同期比39.8%減)、四半期純利益71,762千円(前年同期比44.9%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、3,331,810千円(前年同期比47.5%増)となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が1,824,311千円(前年同期比55.0%増)、固定資産が1,507,499千円(前年同期比39.3%増)であります。また、負債合計は、1,954,871千円(前年同期比77.8%増)となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が1,474,992円(前年同期比50.1%増)、固定負債が479,879千円(前年同期比309.2%増)であります。純資産合計は、1,376,939千円(前年同期比18.8%増)であり、これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、750,623千円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、64,679千円(前年同期比83,372千円減)となりました。

これは主に、法人税等の支払額225,286千円(前年同期比52,965千円増)、その他の流動資産の増加58,802千円(前年同期比53,013千円増)等があったものの、税引前四半期純利益の計上が244,535千円(前年同期比185,454千円減)、現金の支出を伴わない減価償却費の計上57,769千円(前年同期比22,061千円増)、その他流動負債の増加48,937千円(前年同期比74,082千円増)等による資金が増加した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、169,011千円(前年同期比15,866千円減)となりました。

これは主に、通所介護事業のための新規施設の開設による有形固定資産の取得による支出179,173千円(前年同期比69,067千円増)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、620,614千円(前年同期比791,577千円増)となりました。

これは主に、配当金の支払額111,105千円(前年同期比9,423千円増)等の支出があったものの、短期借入金による440,499千円(前年同期比310,499千円増)の資金の増加、今後の事業活動の資金として新たに社債発行による収入391,965千円により資金が増加した結果によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、東京都による都内22施設に対する処分により当第2四半期においてすでに当該施設の収益に多大の損失が発生しておりますが、第3四半期以降の収益影響については、本件が現在係争中であることを含めて、多分に不透明であります。さらに東京都の勧告、指導に基づく自主点検の結果による返還金額が未確定であります。したがって現時点では、平成21年5月8日付の「平成21年3月期決算短信」にて開示いたしました「平成22年3月期業績予想」数値から変更しておりません。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 該当事項はありません。

(単位:千円)

1, 162, 880

71, 737

45, 974

117, 711

1, 280, 591

5. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

流動負債合計

固定負債合計

固定負債

負債合計

社債 長期借入金

その他

前事業年度末に係る 要約貸借対照表 当第2四半期会計期間末 (平成21年3月31日) (平成21年9月30日) 資産の部 流動資産 現金及び預金 750,623 234, 340 901, 327 営業未収入金 873, 253 その他 127, 539 179, 137 貸倒引当金 $\triangle 6,777$ $\triangle 3,305$ 1, 231, 828 1,824,311 流動資産合計 固定資産 有形固定資産 建物 (純額) 941, 994 739, 347 その他 (純額) 214, 474 146, 777 有形固定資産合計 953, 822 1,088,771 無形固定資産 8, 292 9,853 投資その他の資産 敷金及び保証金 362, 245 354, 845 その他 46,628 88,651 408, 874 443, 496 投資その他の資産合計 固定資産合計 1, 507, 499 1, 405, 611 2, 637, 439 資産合計 3, 331, 810 負債の部 流動負債 営業未払金 20,812 短期借入金 890, 500 450,001 1年内償還予定の社債 20,000 1年内返済予定の長期借入金 84,805 131,668 未払法人税等 96, 112 236, 359 賞与引当金 51,939 49, 503 その他 331,636 274, 536

1, 474, 992

380,000

32, 472

67, 407

479,879

1, 954, 871

(畄)	壮	7	_	Ш)
 ・単・	11/	\neg	_	_	

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	304, 375	304, 375
資本剰余金	254, 375	254, 375
利益剰余金	899, 525	871, 311
自己株式	△81, 335	△73, 213
株主資本合計	1, 376, 939	1, 356, 848
純資産合計	1, 376, 939	1, 356, 848
負債純資産合計	3, 331, 810	2, 637, 439

(2) 四半期損益計算書 (第2四半期累計期間)

(分 2 四十朔米 日 朔田)		(単位:千円)
	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業収入	2, 408, 839	2, 641, 828
営業原価	1, 766, 991	2, 090, 701
営業総利益	641, 848	551, 126
販売費及び一般管理費	211, 434	264, 171
営業利益	430, 413	286, 955
営業外収益		
受取利息	366	59
助成金収入	390	_
受取手数料	1, 166	1, 080
雑収入	83	230
営業外収益合計	2,005	1, 370
営業外費用		
支払利息	7, 774	8, 226
社債発行費	_	8, 034
雑損失	774	281
営業外費用合計	8, 549	16, 542
経常利益	423, 869	271, 783
特別利益		
受取和解金	9, 164	_
特別利益合計	9, 164	_
特別損失		
固定資産除却損	821	408
施設閉鎖損失	-	2, 552
投資有価証券売却損	1, 922	_
リース解約損	_	7, 210
損害賠償金	300	300
減損損失	-	14, 723
関係会社清算損		2, 051
特別損失合計	3, 044	27, 247
税引前四半期純利益	429, 990	244, 535
法人税、住民税及び事業税	193, 500	86, 500
法人税等調整額	△1,821	18, 717
法人税等合計	191, 678	105, 217
四半期純利益	238, 311	139, 318

(第2四半期会計期間)

(第2四半期会計期間)		(光圧 イ田)
	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	(単位:千円) 当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
営業収入	1, 250, 137	1, 347, 334
営業原価	910, 203	1, 066, 725
営業総利益	339, 933	280, 609
販売費及び一般管理費	109, 966	131, 975
営業利益	229, 966	148, 633
営業外収益		
受取利息	366	59
助成金収入	390	_
受取手数料	935	787
雑収入	14	135
営業外収益合計	1,706	982
営業外費用		
支払利息	3, 817	4, 587
社債発行費	_	8, 034
雑損失	604	180
営業外費用合計	4, 421	12, 801
経常利益	227, 251	136, 814
特別利益		
受取和解金	9, 164	_
特別利益合計	9, 164	_
特別損失		
固定資産除却損	821	272
施設閉鎖損失	-	2, 552
投資有価証券売却損	1, 088	_
リース解約損	_	7, 210
損害賠償金 関係会社清算損	100	200 2, 051
	2.010	•
特別損失合計	2,010	12, 288
税引前四半期純利益	234, 405	124, 526
法人税、住民税及び事業税	98, 000	26, 000
法人税等調整額	6, 271	26, 763
法人税等合計	104, 271	52, 763
四半期純利益	130, 133	71, 762

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日
	至 平成20年9月30日)	至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	429, 990	244, 535
減価償却費	35, 708	57, 769
長期前払費用償却額	5, 677	7, 359
減損損失	_	14, 72
社債発行費	_	8, 03
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,021	3, 47
賞与引当金の増減額(△は減少)	6, 495	2, 43
受取利息	△366	△5
支払利息	7, 774	8, 22
支払保証料	_	17
有形固定資産除却損	821	40
リース解約損	_	7, 21
投資有価証券売却損益(△は益)	1, 922	_
関係会社清算損益(△は益)	_	2, 05
施設閉鎖損失	_	2, 55
受取和解金	△9, 164	_
損害賠償損失	300	30
売上債権の増減額(△は増加)	△133, 298	$\triangle 28,07$
仕入債務の増減額(△は減少)	2, 840	△20, 81
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5, 789	△58, 80
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△25, 145	48, 93
その他の固定負債の増減額(△は減少)	<u> </u>	6, 21
小計	318, 788	306, 66
利息の受取額	366	5
利息の支払額	$\triangle 7,715$	$\triangle 9, 24$
違約金の支払額		△7, 21
和解金の受取額	9, 164	· <u>-</u>
損害賠償金の支払額	△300	△30
法人税等の還付額	69	_
法人税等の支払額	$\triangle 172,320$	△225, 28
営業活動によるキャッシュ・フロー	148, 052	64, 67
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u> </u>	,
有形固定資産の取得による支出	△110, 105	△179, 17
無形固定資産の取得による支出	\triangle 1,500	$\triangle 3,90$
投資有価証券の売却による収入	3, 037	
関係会社の清算による収入		30, 94
敷金の差入による支出	△62, 844	$\triangle 7,90$
敷金の回収による収入	145	50
長期前払費用の取得による支出	△13, 609	△9, 48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184, 877	△169, 01

(単位	:	千円)

		(十一一 1 1 1 1)
	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	130, 000	440, 499
長期借入金の返済による支出	△182, 365	△86, 128
社債の発行による収入	_	391, 965
リース債務の返済による支出	_	△6, 494
自己株式の取得による支出	△16, 916	△8, 122
配当金の支払額	△101, 682	△111, 105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170, 963	620, 614
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△207, 788	516, 282
現金及び現金同等物の期首残高	449, 633	234, 340
現金及び現金同等物の四半期末残高	241, 845	750, 623
		<u> </u>

- (4)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。

6. その他の情報該当事項はありません。